

新潟公演



2013.12.20 金, 21 土, 22 日

*開演時間▷ 金 19:00・土 17:00・日 15:00

*公演会場▷ リューとびあ 新潟市民芸術文化会館 | 劇場

*入場料▷ 一般 | 舞台上 5,000円・1階 4,000円・2階 3,000円
学生 | 舞台上 4,000円・1階 3,200円・2階 2,400円

*学生券は全席種で一般料金の20%引になります。N-PACmate等、(全席指定)他の割引と併用はできません。公演当日受付にて学生証をご提示下さい。

*舞台上席、車椅子席はリューとびあのみ取扱いです。

www.ryutopia.or.jp

リューとびあ 新潟市民芸術文化会館

【サポートシステムのご案内】お申し込み先：
リューとびあチケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521
●託児室：公演日の2週間前までにお申し込みください。
なお、定員になり次第、締切らせていただきます。(対象：生後6ヶ月以上～小学校2年生まで。託児料：未就学児1人1,000円、小学1・2年生1人1,500円)※公演日前1週間を過ぎるキャンセルは託児料金と同額のキャンセル料が発生します。
●車椅子席：チケット購入時にお申し込みください。
●難聴者赤外線補聴システム：予めお申し込みください。

【駐車場のご案内】
リューとびあには専用の駐車場はありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。白山公園駐車場(約600台、30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので予めご了承ください。※身障者用駐車場を用意しております。

【交通のご案内】●新潟駅万代口より車で15分 ●関越自動車道/磐越自動車道新潟ICより車で20分 ●新潟駅万代口よりバスで「市役所前」下車徒歩7分、「競技場前」下車徒歩5分、「白山公園前」下車徒歩3分 ●新潟空港より車で30分



神奈川公演

2014.1.24 金, 25 土

*開演時間▷ 金 19:30・土 17:00

*公演会場▷ KAAT 神奈川芸術劇場 | ホール

*入場料▷ 全席指定 5,500円

*舞台上席はチケットかながわのみの取扱いです。

KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 横浜市中区山下町281
TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691
http://www.kaat.jp/

●みなとみらい線: 渡谷駅から東横線直通で35分! 横浜駅から6分!
日本大通り駅から徒歩約5分。元町中華街駅から徒歩約8分。
●JR根岸線: 関内駅または石川町駅から徒歩14分。
●市営地下鉄: 関内駅から徒歩14分。
●市営バス: 芸術劇場・NHK前すぐ。
横浜駅東口バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)
桜木町バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)
※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。ただし、148系統急行線を除く。
●神奈川芸術劇場有料駐車場(65台)もご利用下さい。
指定管理者: (公財)神奈川芸術文化財団



チケット *発売日▷ N-PACmate(リューとびあ友の会)・KAme(かながわメンバーズ) 2013年10月17日(木) | 一般10月19日(土)

新潟・神奈川公演共通▷ リューとびあチケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521 (11:00~19:00/休館日を除く)
▷ e+イープラス http://eplus.jp/ (携帯・パソコン)

神奈川公演のみ▷ チケットかながわ Tel: 045-662-8866 (10:00~18:00) *10/1 から 0570-015-415 に変更。
http://www.kaat.jp/ (KAme先行はインターネットのみ)

▷ チケットびあ Tel: 0570-02-9999 (Pコード: 432-091) http://pia.jp/t/ (携帯・パソコン)

▷ ローソンチケット Tel: 0570-084-003 (Lコード: 35873) 0570-000-407 (オペレーター対応10:00~20:00) http://l-tike.com/ (携帯・パソコン)

*お問い合わせ▷ リューとびあチケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521 (11:00~19:00/休館日を除く)

⚡平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 主催▷ 公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団 製作▷ リューとびあ 新潟市民芸術文化会館 提携▷ KAAT 神奈川芸術劇場※神奈川公演

*未就学児の入場はご遠慮いただいております。*開演時間を過ぎますと、しばらくの間ご購入いただけない場合や、ご自席に着席いただけない場合がございます。予めご了承ください。

篠山紀信
ぼくはNoismの作品総てを、写真に撮っている。もちろん『PLAY 2 PLAY』も。
「新潟県立万代島美術館」で今丁度やっている『篠山紀信展 写真力』(12月14日～3月2日)でも特別コーナーをつくり、Noismの作品を大型パネルに引伸ばして展示している。
もちろん『PLAY 2 PLAY』もあるよ。「りゅーとぴあ」と「美術館」へ走れ！ 必見！

Photo: Kishin Shinoyama



Photo: Kishin Shinoyama

金森 穰 Jo Kanamori | 演出振付・出演 www.jokanamori.com

演出振付家、舞踊家。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モーリス・ベジャールらに師事。ネザーランド・ダンス・シアターII、リヨン・オペラ座バレエ団他を経て帰国。2004年4月、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞歴多数。

2007年の初演から6年。音楽・衣裳も改訂し、新たなメンバーでの創作を経て、再演決定。
Noism芸術監督・金森穰も2年半ぶりの出演。

PLAY 2 PLAY

Noism1
PLAY 2 PLAY—干渉する次元

演出振付 | 金森穰

空間 | 田根剛 (DORELL. GHOTMEH. TANE / ARCHITECTS)

音楽 | トン・タツ・アン

衣裳 | 三原康裕、堂本教子

出演 | Noism1 + 金森穰



緊張感の連続がたまらないです。今日は舞台上から見て、どうしても客席から見たくなりました。(25歳 女性)

わけがわからなくて最初は理解しようとしていましたが、途中からは何かもうのみ込まれてしまいました。ブラボー!!! (23歳 女性)

今度は正面から見てあらためて傑作と思った。立ち会うことができ幸せだ。(男性)

「これはヤバイ」と言っている人がいましたが、まさにそんな感じです。(女性)

美しいです。ダンス鑑賞の仕方が分からずとも、本当に引き込まれてしまいました。無名性の美しさみたいなものも感じました。(24歳 女性)

まるで一つの人生の旅をした気持ちです。私も生きていこうという希望と勇気もいただきました。(38歳 女性)

一言でいって圧倒されました。地球上のものとは思えず、宇宙の中、まさに異次元の惑星での生命の躍動。(74歳 男性)

大感動(だいかんどう) (10歳 男性)

Noism史上No.1の作品です！とにかくカッコいい！表も裏も絶対見るべきです！(女性)

本当に凄い作品だ！人目がなかったら号泣していました。(38歳 女性)

びっくりした！何だろ、これは…。衝撃が大きすぎて、まだ放心状態です。(25歳 女性)

涙が出ました。日本でこんな素敵な公演が生まれて嬉しく思います。(29歳 女性)

“身体”がこんなにも美しく不思議なものだったなんて!! 最初の10秒で鳥肌が立ちました。(22歳 女性)

やっぱりNoismカッコイイ!! (21歳 男性)

(2007年初演時アンケートより)



Photo: Alexandra Isart

田根 剛 Tsuyoshi Tane (DORELL. GHOTMEH. TANE / ARCHITECTS) | 空間 www.dgtarchitects.com

これまで穰さんが『PLAY 2 PLAY』を再演したいと何度か話してくれていました。それが初演から約2000日の時が経ち、その永い眠りから醒めるかのように、この作品が再び舞台の上で演じられることが嬉しくてたまりません。当時、自分はこの作品に全てを出しました。本当に全てでした。そこにアンの音楽、三原さんの衣裳、そして穰さんの演出振付がNoismの身体によって体現された時、この作品の物語は開かれ、時間は芸術となり、現実想像を超えてくれました。そして再演！

1979年東京生まれ。建築家。2006年、DGT (DORELL. GHOTMEH. TANE / ARCHITECTS) をダン・ドレル、リナ・ゴットメと共にパリ・フランスに設立。現在、エストニア国立博物館(2015年完成予定)をはじめ、フランス、スイス、レバノン、日本でプロジェクトが進行中。フランス文化庁新進建築家賞ほか受賞歴多数。コロンビア大学GSAPP客員教授。



尊室安 トン・タツ・アン An Tôn Thất | 音楽 www.aakenweb.com

『PLAY 2 PLAY』は、私の人生、そして創作の中でも特別な作品です。新作とは、新たな領域の探求へと背中を押し、崖から飛び降りるようなものです。『PLAY 2 PLAY』の音楽は、継ぎ目のない流れの中に対照的な絵画が溶け込むように発想されました。見事な振付と演出、印象的な空間はもちろん、素晴らしい舞踊家たちのおかげで、結果、そして観客の反応は私の期待を遥かに超えるものでした！Joから再演の話聞いた時は大いに喜びました。新たな旅が始まります！

1970年パリ生まれ。ヴェトナム系フランス人作曲家。コンテンポラリーダンス、演劇、映画、オーケストラ等で作曲家として活動している。Noismでは『NINA』(05)、『PLAY 2 PLAY』(07)、劇的舞踊『ホフマン物語』(10)を作曲。近年ではベルリン交響楽団へ楽曲『The Legend of Thanh Giong』を提供、現在は台北を拠点に、映画『When Doves Cry and Like a Thief』やオペラ『Aurelia』での作曲、小説『Hyperbody』等、活動の幅を広げている。



Photo: Ben Hassel

三原 康裕 Yasuhiro Mihara | 衣裳 www.miharayasuhiro.jp

このたび『PLAY 2 PLAY』が再演される事は嬉しく思います。金森率いるNoismとの仕事でこのプロジェクトはとても印象に残っています。音楽、舞台装置、そして僕の担当した衣裳。それぞれの人間に金森君は「好きにやって下さい。」としか注文はなく、ストレートに挑戦状を叩き付けてきたような感じでした。それこそがNoismだと思いました。そして最後までいっただいどうなるか分からない緊張感の中、初演を観たときの感動は今思い出しても胸が熱くなります。ありがとう穰君。

1972年長崎生まれ。多摩美術大学在学中より独学で靴作りを開始、'98年に直営店「SOSU MIHARAYASUHIRO」をオープン、翌年ウェアラインを東京コレクションにて発表。'01年<PUMA by MIHARAYASUHIRO>を全世界同時発売。'04年「MIHARAYASUHIRO」がミラノメンズコレクションにデビュー、'07年よりパリメンズコレクションに発表の場を移す。

Noism 01

Noism1 ノイズムワン | 井関佐和子(副芸術監督)、中川賢、真下恵、青木枝美、藤澤拓也、宮原由紀夫、亀井彩加、角田レオナルド仁、簡麟懿、石原悠子、池ヶ谷奏、吉崎裕哉

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館が舞踊部門芸術監督に金森穰を迎えたことにより、日本初の劇場専属舞踊団として2004年4月設立。新潟を拠点に、国内ツアーをはじめこれまでに海外7か国10都市でも公演を行う。'09年モスクワ・チャーホフ演劇祭との共同制作、'11年サイトウ・キネン・フェスティバル松本制作のオペラ&バレエへの参加等活動の幅を広げ、公共劇場専属舞踊団として、常にクリエイティブな活動を続けている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。

www.noism.jp